

令和3年度 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）対象事業 評価検証シート

対象事業名	栗駒山麓ジオパークプロジェクト		
事業概要		事業始期	事業終期
<p>栗原市では、平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震で生じた多数の栗駒山麓の崩落地や、何度も発生しその度に克服してきた河川のはん濫などの自然災害、自然の営みによって造られた地形・景観を保全し、経験と記憶を後世に継承するため、「自然災害との共生と豊穡の大地の物語」をメインテーマとして、防災教育や学術研究、観光などで地域活性化に取り組んだことから、平成27年9月に日本ジオパークに認定され、令和元年12月には再認定を受けました。</p> <p>栗駒山麓ジオパーク活動を持続可能なものへと成長させていくためのプロジェクトとして、「栗原の大地を守る保全活動」、「栗原の大地に習う教育活動」、「栗原の大地を活用した経済活動」、「ジオパークに親しむ拠点施設整備」を推進し、活動の柱である「保全・教育・持続可能な開発」に関連した様々な活動を通じて、地球規模の課題とも向き合いながら、SDGsの達成を目指している。</p>		令和2年度	令和6年度
事業費（円）	寄附金額（円）		寄附企業
53,376,833	10,700,000		株式会社アドバンテクノロジー
重要業績評価指標（KPI）①	目標値（R6）	実績値（R3）	達成状況
観光客入込数（年間）	220万人/年	131万人/年	未達成
重要業績評価指標（KPI）②	目標値（R6）	実績値（R3）	達成状況
地域再生計画の位置付け	事業結果・評価		今後の方針
<p>ア 地域の特性を活かした産業や交流が盛んで、充実した仕事ができるまちを創る事業</p>	<p>令和3年度は、荒砥沢地すべり地内に設置する「荒砥沢モニタリングシステム」の保守活動を通して、観測情報に基づく安全確認等により地域の防災・減災に寄与することができた。</p> <p>また、小学5年生を対象とした防災ジオ読本のデジタル版を作成し、防災教育及びジオパーク活動の普及に一定の成果を上げることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>▲荒砥沢モニタリングシステム保守活動 ▲電子版の副読本を活用した授業</p>		<p>今後のジオパーク活動を推進するための「アクションプラン2020」では、SDGsのゴール目標を意識しながらユネスコ世界ジオパーク認定を目指すほか、ジオサイトの保全、ジオパーク学習による教育活動の普及、ジオ商品の開発、研究資料への活用、広報・普及活動を強化し、ジオパークの認知度を高めることを基本戦略としている。</p> <p>認知度や学習内容を充実させるため、各ジオサイトの各種表示物（看板等）を整備するとともに、総合学習への取り組みや防災教育などをすすめて、二つの大きな震災を後世に継承するためにビジターセンターの展示品及び映像ソフトの更新を計画的に実施していく。</p>